

# Continue

YUTACOLGY'S communication press magazine

vol.40  
2026 SUMMER



Geminiを使用して制作したAI生成画像です

巻頭対談

「ウェルビーイング」で生きがいに寄り添う

株式会社ONZiii Act 代表取締役 長谷川 昌弘様

特集

ウェルビーイングな取り組み紹介

株式会社ONZiii Act  
代表取締役  
**長谷川 昌弘様**

×  
ユタコロジー株式会社 代表取締役  
**酒井 秀京**

テーマ

# 「ウェルビーイング」で 生きがいに寄り添う

2030ビジョンを掲げ

「Make Tomorrow Go Better - 今日よりも良いと思える明日を創る - 」

を合言葉に「建物と人のキレイと健康」に寄与する企業を目指している当社。

今回は地元に着した介護福祉事業を主事業とされる株式会社ONZiii Act

長谷川社長にお話を伺いました。

## 「価値あるVintage Life」をお届けする

**酒井** この度はインタビューの機会をご提供いただきありがとうございます。

昨年より貴社とご縁をいただく中で、介護福祉事業の利用者様への考え方がウェルビーイングの観点からとても素晴らしく感銘を受けましたので、より深くお伺いしたいとお時間を頂戴しました。はじめに、貴社の主事業について教えていただけますでしょうか。

**長谷川** 事業としてはデイサービスと中心とした介護福祉事業とボディメイクをサポートする健康増進事業があります。当社は介護福祉事業として2010年に理学療法士を中心としたメンバー6人で立ち上げました。以降、地道な活動を続け、種をまき、水をやり…。温めた地域には少しずつ根が育ち、年を追うごとに蕾が膨らんで花が咲き、ここまで来ることができました。基本理念「個を活かし、ワクワクを分かち合い、こだわりを生む」を胸に現在は計8拠点を運営しています。

**酒井** 貴社は地元密着を大切に事業を運営されておられますね。

**長谷川** そうですね。介護福祉というものの自体が地元密着が求められる事業であることはありますが、その上で私たちは地域に暮らす方に「価値あるVintage Life」をお届けしたいと考えています。利用者様は、身体は衰えていっているかもしれませんが、あれをやり、これをやりたいという自発的な気持ちを持っていただき、その気持ちを叶えるため最大限サポートさせていただくことで、私た

ちが利用者様にとって価値のある出会いでありたいという考えを表しています。例えば、お身体を悪くされる前は毎年のタケノコ掘りを楽しみにされていた方がいらっしゃいました。ご自身では諦められていたようですが、私たちがご家族とお話し、ご自身で歩けるようになってまたタケノコ掘りをしましょうと提案させていただきました。周囲がそうやって応援してくれていることでご自身の中でもう一度挑戦したいというお気持ちが芽生え、とても前向きにリハビリテーションに取り組んでくださるようになりました。

**酒井** 弊社にもシニアの方が多く在籍してくださっているので状況はすぐ理解できます。企業側としては安全とウェルビーイングの葛藤がありますね。

**長谷川** はい。例えば、一人では乗れなかった自転車も、補助輪がつくことでまた前に漕ぎ出すことができたり、すぐには真っ直ぐに進めなくとも、寄り添うことで勇気が生まれ、やってみようと思う次のステージの原動力になったりします。私たちは、これこそが真のサポートであると考えています。運動機能の向上について利用者様にお話を伺うとトイレは自分でできるようにしたいとお考えになる方が多くいらっしゃいます。一方でご家族からすれば万が一転倒してしまったら…と心配されるお気持ちもよくわかります。ただ、何かしらのモチベーションが楽しい人生に繋がりますから、利用者様ご自身はもちろんのこと、ご家族とも何度も話を重ねて支援方法を決定させていただくようにしています。これらについては、社内でも「リハビリ」という言葉を「リハビリテーション＝気持ちも含

株式会社ONZiii Act代表取締役。理学療法士として多くの人生に寄り添ってきた経験を原点に、2010年に創業。人が「支えられる」のではなく、自ら一歩踏み出したくなる関わりを大切にしている。介護・健康増進事業を通じて、人の可能性がひらき、誰もが自分らしく歩める地域社会を目指している。

株式会社ONZiii Act  
代表取締役  
長谷川 昌弘様

会社WEBサイト 事業内容  
<https://www.onziii-act.com/service-company>



めたサポート」「リハビリ＝身体機能の向上」と意図して使い分け、より意識して心に寄り添えるような環境となるよう努めています。

**酒井** 利用者様のご家族にとっても非常に心強い環境ですね。社員みなさんのウェルビーイングにも繋がると感じます。

**長谷川** 仕事のやりがいに繋がってくれている社員は一定数いると思います。しかし、このようなスタンスで利用者様に向き合っていくことは大変なことです。ですから得手不得手や家庭環境などにより全ての従業員ができるわけではありません。こういったことが得意な従業員とそれをフォローする従業員とのチームで前向きに取り組んでもらうようにしています。施設外でのサポートについては利用者様から別途費用をいただきそれを手当として従業員へ還元したり、代わりの休みを取得できるようにしたりと制度面を整備することで働く環境を守る取り組みとしています。

## これまでにない属性の方たちにも想いを届けたい

**酒井** 今年から弊社でもお願いしているチャンミカさんのダンスコンテンツですが、これはどのような経緯で始められたのでしょうか。

**長谷川** 当社がもともと自治体からお声掛けをいただき、地域のシニアの方々の運動サポートをおこなってきたことがきっかけでした。自治体のみなさんも自分の足で生活できる人生をサポートしたいと色々と運動機会を設けられてるのですが、こういったところに参加される方はもともと健康意欲の高い方で、そういった方々は



▲誰もが一度は耳にしたことのある音楽に合わせて身体づくりのダンスをおこなうことで、老若男女問わず楽しく参加できるコンテンツです。

全国的にみても約2割程度しかいません。私たちとしては健康意識があまり高くない方々にも、病気になる前から身体を整える大切さを知ってほしいと考えていました。そんな中で、理学療法士のチャンミカから「音と動きのパフォーマーとして、多くの方に関わっていきたい」という想いととも、ダンスを取り入れたコンテンツの提案がありました。このとき、これまでの「ケガしない病気にならないための身体づくり」のイメージとは違う一風変わったコンテンツが生まれました。

**酒井** 私も昨年星ヶ丘で開催されたイベントで拝見しましたが、すごく盛り上がっていて素晴らしいコンテンツでした。

**長谷川** 歌謡曲やポップスに合わせてダンスをおこなうので、参加者のみなさんは本当に良い笑顔で踊ってくださいます。音や動きは感情と直結していますから、皆さんが若い頃に聞いていた曲です。その時の感情も思い出されるのだと思います。また、最近ではテレビ番組で懐メロを紹介するものも増えていたりSNSでも最近の曲調にアレンジされたものも流行ったりしていますから、若い方にとっても耳馴染みがある曲が多くなりました。世代を問わず参加いただけるコンテンツとなり、イベントでのステージ登壇や企業の運動会などのご依頼をいただくことに繋がっています。

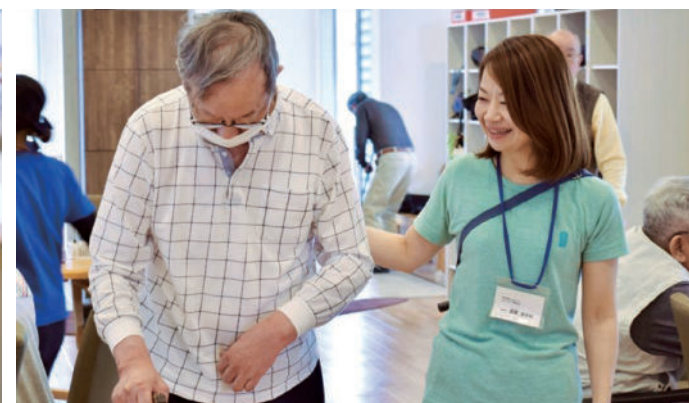
**酒井** 今まで届かなかった方々へ身体づくりの大切さを届けるという目的は大きく前進されていますね。

最後に、今後の展望を教えてください。

**長谷川** まずは、これまでどおり施設を通じて地域の皆様に貢献していきたいと考えています。そのうえで、100年続く企業を目指し、利用者様のお孫さん世代からも「ここで働きたい」と思ってもらえるような会社にしていきたいです。

これまで積み上げてきた“ONZiii Actらしさ”を大切にしながら、働いてくれるスタッフ一人ひとりの幸せも、これまで以上に大事にしていきたいと考えています。また、これまで届かなかった方々へ想いを届けるために、業界を越えた企業の皆様と連携しながら、地域に新たな価値を提供していきたいです。

**酒井** 本日は貴重なお話をいただき、誠にありがとうございました。



▲利用者様だけでなく、勤務されているスタッフさんの人生にも向き合い、どのように能力を伸ばし、発揮し、地域に貢献できるかという観点で人材育成をおこなわれています。

## ～対談を終えて～

“人生100年時代をどう輝くか”という観点から「今日よりも良いと思える明日を創る(ウェルビーイング)」会社を中期ビジョンに掲げ、誠実・挑戦・共感創造でお客様の「生きがい」「働きがい」に寄与したいと考えている当社において、ONZiii Act様の取り組みは大変勉強になりました。建物と人のキレイと健康をお届けし、多くの企業様へ貢献できよう尽力してまいります。このような貴重な機会をいただき、ご縁に感謝いたします。

# Well-Being 取り組み紹介

ウェルビーイング

「今日よりも良いと思える明日を創る」会社を中期ビジョンに掲げ、当社では社内外でウェルビーイングな取り組みを推進しています。今回は「人生100年時代のキレイと健康」のため、健康経営優良法人への取り組みを軸に社内取り組みをご紹介します。

## トップメッセージ

ウェルビーイングとは、身体的にも精神的にも健康で、社会とのつながりもあり、満たされている幸福な状態をいいます。幸福になる要素として、5つあると言われています。

①楽しさや心地よさ、感謝する心があり、ポジティブであること。②趣味や仕事など、夢中になれることがあること。③家族や友人、同僚などのつながりがあり、互いに信頼関係があること。④自分のやっていることが社会の役にたっているという実感があること。⑤小さくても目標や目的を達成し、昨日より今日、今日より明日が良いと思えること。

当社ユタコロジーでは、安全・安心、笑顔そして感動の提供と社員の幸せの追求を事業の目的としています。事業を遂行する社員スタッフや、当社に関わる人々が、幸福を実感でき得る環境、或いは今日よりも良いと思える会社になるべく、地道ながらも一つ一つ積み上げています。



## 安全・健康への取り組み

### 1 安全への取り組み

#### 安全三大運動の実施

当社では安全を一丁目一番地と考え、安全三大運動（TBM/KY・声掛け運動・指差呼称）をおこなっています。作業開始時の安全確認や作業時のお互いの声掛け、交通や作業完了時の指差呼称をおこなうことで確実な作業にあたっています。

#### 高齢者の労災防止について

今年4月に労働安全衛生法改正にともない高齢者の労働災害防止策として頭部保護を目的としたキャップの配布をおこないました。

労災自体の防止はもちろんですが、万が一転倒してしまった際にも軽症で済むよう配布を決定しました。



#### ロコトレの推奨

労働安全衛生法改正の背景にもあるとおり、高齢者の躓き・転倒事故は後を絶たず、例に漏れず、当社でも毎年数件の事故が発生しています。

そもそもそういった事故が発生しない身体づくりを目的に、当社ではロコトレを推奨し、啓発をおこなっています。

当社Youtubeチャンネルでの発信に加え、今年は当社オリジナルダンスも制作し、一層の普及にむけ活動しています。



#### 熱中症防止について

昨今、酷暑日が続きますが当社では5月から10月上旬まで、熱中症予防を目的に塩飴を配布しています。

また、昨年からスタートした熱中症罹患患者発生時の緊急対応フローも継続して掲示・携帯し、安全第一での作業を心掛けております。



#### 安全宣言の日

平成12年8月22日に高所作業（3F）からの転落事故を発生させてしまった事から、二度と重大事故を起こさないことを目的に毎年8/22前後に開催しています。

当日は当社社員だけでなくいつも作業を委託している協力会社の方々にもご参加いただき、安全に関する考えはもちろんのこと、事故事例や安全関連の法改正、BCPに関する情報共有もおこなっております。

また、事前に社内公募した安全標語やヒヤリハット事例の優秀作品表彰もおこない、会社一丸となって安全啓発に取り組む日となっております。



## 2 ウェルビーイングな取り組み

#### アルバイトスタッフとのコミュニケーション

直行直帰でお客様先で勤務してくれているアルバイトスタッフともコミュニケーションを活発化しようと色々なツールを導入しています。

これまで毎月継続してきた社内報『ゆたかのたより』（2026.5月現在462号）に加え、社外報『Continue』もお届けし、最新の会社の会社の情報を共有しています。

今後はLINEアプリ等を活用したデジタル環境でのスピード感のあるコミュニケーションを目指しています。



#### バースデーカードでのお祝い

当社在籍の全従業員を対象に、誕生日月にメッセージカードをお送りし、ささやかながらお祝いをしています。

カードと一緒に、素敵な日を大切な方と一緒に祝いしてほしいという気持ちを込めてハーゲンダッツギフト券も同封しています。



#### 永年勤続表彰

毎年創業記念日である11月1日に勤続10年、20年、30年の従業員を表彰しています。

正社員だけでなくアルバイトスタッフも含めて表彰しており、毎年10名前後の方をお祝いしています。



#### 健康情報の発信

社員全員の健康増進にむけ、毎月社内報『ゆたかのたより』で情報発信をおこなっています。

当社は多くの女性シニアスタッフに支えられているため、骨や筋肉を強くするだけでなく美容にも良い所持レシピを中心に展開しています。

# ユタコロジー 事故 & 異常発見 & クレーム報告

【2025年11月16日-2026年5月15日】

ユタコロジーは「快適さの維持・進化・創造」をミッションとしております。  
当社では、社外報をつうじて年2回、直近半年間に発生した事故やお客様からいただいた  
ご指摘を関係者の皆様へご報告させていただいております。

| 発生月          | 内 容       | 概 要                                                                             |
|--------------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 2025年<br>11月 | 業務中災害     | 日常清掃時、クリーンクルーがお客様施設内でのモップ掛け作業中に足が滑って転倒。<br>頭を強打してしまった。                          |
| 12月          | 通勤災害      | クリーンクルーが帰宅中に転倒。左手の指を骨折してしまった。                                                   |
| 2026年<br>1月  | お客様先備品の破損 | 定期清掃時、お客様施設内の階段水拭き作業の際に移動させた消火器を倒してしまい消火器の看板<br>を破損させてしまった。                     |
|              | 業務中災害     | 日常清掃時、クリーンクルーがお客様施設内の外トイレ清掃中に段差（ステップ1段）降りるときに<br>躓いて足をひねってしまった。診断の結果足の指が骨折していた。 |
| 3月           | お客様所持品の破損 | 日常清掃時、バイク置場に施設利用者様のバイクシートに置いてあったヘルメットを床に落として<br>しまい、ヘルメットのつばにひびが入ってしまった。        |
|              | 業務中災害     | 日常清掃時、クリーンクルーがお客様施設内で扉を通過しようとした際にモップがひっかかり<br>脇腹を強打してしまった。診断の結果骨折であった。          |
|              | 車両事故（自損）  | 営業社員が社有車利用の際に、高速道路合流地点で看板と接触してしまった。                                             |
|              | 通勤災害      | クリーンクルーが通勤時に段差に躓き転倒。足を捻挫してしまった。                                                 |
| 4月           | お客様先備品の破損 | 定期清掃時、お客様施設内の看板に車両を接触させてしまい破損させてしまった。                                           |

直近の半年間は、通勤労災・業務中災害が多発してしまうこととなりました。  
クリーンクルーを含めた社員全員に発生原因を共有し、再発防止のための特別教育を実施しました。  
お客様のWell-beingの根幹を担う当社として、快適空間創造と事故・クレームゼロを目指し、改善に努めてまいります。  
引き続きご指導のほど宜しくお願い申し上げます。



BM NEWS

## 速報 関東エリアでも作業をおこなっています！

4月25日に東京都練馬区、4月26日に埼玉県川口市で排水管高圧洗浄清掃作業をおこないました。スポット作業  
でのご依頼ですが、年間を通して他物件に関しても、ご依頼をいただいております。

今回は現地の協力会社へ委託し、  
FM事業部部長の市川が立会いをおこ  
ないました。

体が不自由なご入居様もいらっしゃ  
いましたが、安全にも配慮しつつ細心の  
注意をもって作業にあたりました。



# Well-being ニュース

空間と人のキレイと健康へ寄与する事業を推進するユタコロジー。  
Well-beingな取り組みをお知らせいたします。

## REPORT 1 優秀な永年勤続社員として当社クリーンクルーが表彰されました。

●5月19日（火）に開催された愛知ビルメンテナンス協会の理事会・定時総会〔愛知芸術文化センター〕内  
で当社クリーンクルー4名がそれぞれ以下のとおり表彰されました。

『永年勤続優良従業員表彰』（2名） 木村 恵子さん 野崎 三鈴さん  
『優良従業員協会長表彰』（2名） 伊藤 とし子さん 木村 しづ子さん



●5月25日（月）に開催された愛知ビルメンテナンス協同組合の通常総会〔名古屋ガーデンパレス〕内で  
当社クリーンクルー1名が以下のとおり表彰されました。

『理事長表彰』 成瀬 春美さん

表彰された皆様、長期にわたり社業に注力いただき本当に感謝いたします。  
このように表彰いただける従業員がたくさん生まれるよう、引き続きウェルビーイングを大切に働く環境改善に努め  
てまいります。

## REPORT 2 AI活用の研修実施が決定しました

今年の重点目標にもある「DXの推進」に関連してAI活用に関する社内研修会の開催が決定しました。人材開発  
支援助成金を活用し、ITリテラシー向上と生成AI活用に関して3日間で計12時間の研修をおこないます。これにより  
AI活用を活発化し、これまで以上にお客様にお役立ちできる体制構築に努めてまいります。

## REPORT 3 キレイ-1グランプリ2026に参加しました

5月29日（金）さいたま市文化センターでキレイ-1グランプリ2026（3rd）が開催され、当社からFM事業部のG長浅下が参加し  
ました。

キレイ-1グランプリとは、2026キレイ-1グランプリ実行委員会が  
主催する清掃技術と顧客提供価値の向上を目的としたイベントで  
す。

当日は、いつもコツコツと真面目に清掃に向き合うプロたちが「掃  
き技」と「報告力」について競い合いました。

特に、報告書作成ではAIを活用しての進化した業務紹介もあり、  
お客様への高価値の提供やDX推進を掲げる当社にとっても非常  
に有意義な一日となりました。



## REPORT 4 Pマーク取得にむけて運営体制を強化しました

6月8日(月)にPマーク取得に関する審査機関による実地検査がおこなわれました。お客様からお預かりする情報や従業員に関する情報などの保護を目的に、昨年秋から準備を開始してまいりましたが、いよいよ最終の審査がおこなわれました。ステークホルダーの皆様に安心いただける会社になれるよう、これからも挑戦を続けてまいります。

## REPORT 5 プレコンセプションケア研修会に参加しました



6月1日(月)愛知県主催のプレコンセプションケア研修会が愛知県自治センターで開催され、Well-being事業部部長兼総務部部長の久米が参加しました。

当日は「地域職域連携でめざすプレコンセプションケア」をテーマとした講演や参加者によるグループワークがおこなわれました。

多様性のある人材が活躍できる企業になるため地域と連携してどのようなネットワークを構築していくべきかを考えるうえで非常に有意義な意見交換ができました。

当社従業員はもちろんのこと、お客様へも貢献できるようこれからも研鑽してまいります。

## REPORT 6 今年も始まりました産学連携プロジェクト!



4月7日(火)に開催されたキックオフミーティングを以て、今年も椋山女学園大学と協働しているプロジェクトがスタートしました。

このプロジェクトは様々な企業様にご協力いただき、学生が既に社会で活躍されている女性社員様やこれから本格的に女性活躍を推進されようとしている企業様を訪問。

インタビューを通じて得た学びと気づきをパンフレットとして制作し、2027年新3年生へ配布する、という企画です。

今年からは、現代マネジメント学部佐々木ゼミのみなさんと企業の理念やダイバーシティ戦略も学ぶ企画としてブラッシュアップされました。

- [4月～5月] 訪問する企業様の業界・企業研究
- [6月～8月] 実際に取材をおこない記事を制作する
- [12月末ごろ] 完成

毎年、新3年生と協働するこの企画では私どももフレッシュな気持ちで学生のサポートをおこなうことができ、非常に刺激がもらえるプロジェクトです。

協力いただける企業の皆様、本当にありがとうございます。

完成したパンフレットの報告会が2027年1月に開催されますので、その模様はまた報告させていただきます。

